



# やまつつじ



2022年4月28日 石山高校図書館発行 第260号【HP版】

## 決定! 2022年本屋大賞!

大賞

### 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬

独ソ戦が激化する1942年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングラードの前線へ…。

この本の関連図書で、ノーベル文学賞作家のスヴェトラーナ・アレクシェーヴィチが書いたノンフィクション『戦争は女の顔をしていない』も図書館で所蔵しています。



### 2位 『赤と青とエスキース』 青山美智子

メルボルンの若手画家が描いた一枚の「エスキース(絵画)」。  
日本へ渡って30数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいき…。仕掛けに満ちた書き下ろし連作短篇集。



### 3位 『スモールワールズ』 一穂ミチ

夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。向き合うことができなかった父と子…。  
誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描く連作集。



### 『正欲』 朝井リョウ

生き延びるために、手を組みませんか…。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か? 目を背けたくなる問題作か? 朝井リョウの作家生活10周年を記念した書下ろし長篇小説。

### 『六人の嘘つきな大学生』 浅倉秋成

成長著しいIT企業の最終選考。最後に残った6人に出された課題は、「1人の内定者を6人で決めること」。そんな中、6人それぞれの「罪」が告発された6通の封筒が発見される。彼らの嘘と罪とは。そして「犯人」の目的は…。

### 『夜が明ける』 西加奈子

どれだけ傷ついても、夜が深くても、必ず明日はやってくる。思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡を描く。再生と救済の物語。

### 『残月記』 小田雅久仁

近未来の日本、人々を震撼させている感染症「月昂」に冒された若者。カリスマ暴君の歪んだ願望に運命を翻弄されながら、愛する女のために抗い続け…。表題作はじめ全3編を収録。

### 『硝子の塔の殺人』 知念実希人

雪深き森で、燦然と輝く硝子の塔。ミステリを愛する大富豪の呼びかけで、一癖も二癖もあるゲストたちが招かれた。この館で次々と惨劇が起こる。謎を追うのは名探偵と医師一。

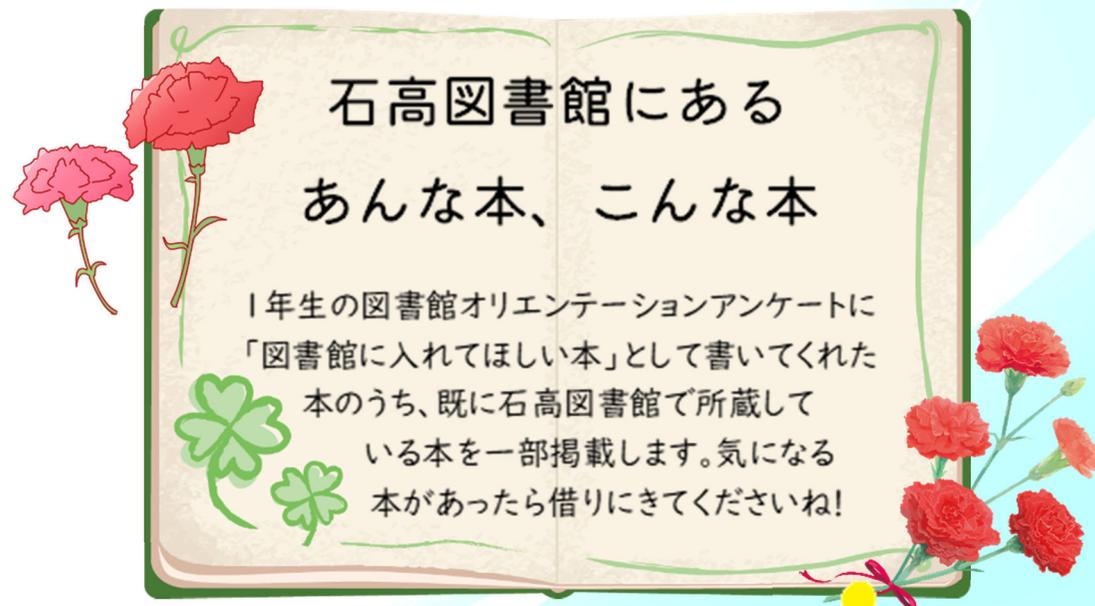
### 『黒牢城』 米澤穂信

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか一。

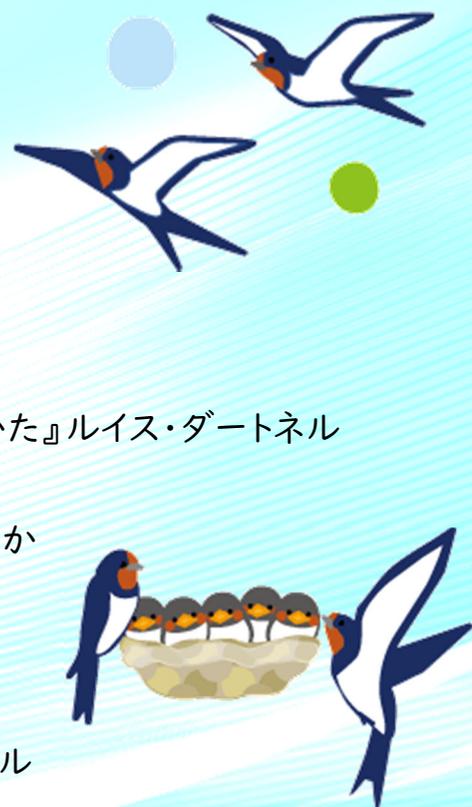
### 『星を掬う』 町田そのこ

千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、娘に捨てられた彩子と、聖子を「母」と呼び慕う恵真。4人の共同生活は、思わぬ気づきと変化を迎え…。

6月に、5月に読んだ本の冊数を尋ねる調査があります。5月に読んだ本の数を覚えておいてくださいね。



- 『3日間の幸福』 三秋緋
- 『転生したらスライムだった件』 伏瀬
- 『流浪の月』 凧良ゆう
- 『神様の御用人』 浅葉なつ
- 『アリエナクナイ科学ノ教科書』 くられ他
- 『氷菓』 米澤穂信
- 『探偵はもう、死んでいる』 二語十
- 『この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた』 ルイス・ダートネル
- 『わたしの幸せな結婚』 顎木あくみ
- 『コンフィデンスマンJP 英雄篇』 古沢良太ほか
- 『Another』 綾辻行人
- 『月曜日の抹茶カフェ』 青山美智子
- 『バッテリー』 あさのあつこ
- 『シャーロックホームズ シリーズ』 コナン・ドイル



図書館の最新情報や蔵書検索、新着図書のチェックは蔵書検索サイトから!ログインすると予約・延長手続きもできます。URLは配布版図書館だよりをご覧ください。

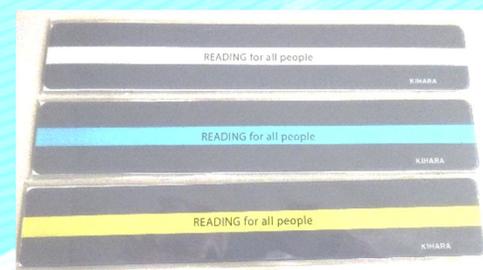
目が滑って読書に集中できない…そんな時に!!

読書補助具「リーディングトラッカー」

図書館で貸出できます!

リーディングトラッカーとは、両隣の行の文字を隠して読み進める読書補助具です。ディスレクシアのある人や視覚障害のある人の読書をサポートするツールであるとともに、集中して読書したい人などにも便利なユニバーサルデザインのツールです。

使い方はとてもシンプルで、右下の写真のように、文書や本のページにリーディングトラッカーを当てるだけ。リーディングトラッカーを使うことで、読みたい行だけに視点を集中することができます。図書館で複数色準備していますので、利用してみたい人はカウンターでご相談ください。



ディスレクシアについて詳しく知りたい人へのおすすめ本

- 『ディスレクシア入門』 加藤醇子
- 『最高のアフタヌーンティーの作り方』 古内一絵
- 『青少年のための小説入門』 久保寺健彦

